

日本語用言を見つめ直す

山本 和英 中山 匠
長岡技術科学大学 電気系

この発表は ...

- 日本語の用言について考えます。
- 新しい用言分類の提案を行います。
- 現在考えている内容について議論をします。
- 現時点で何ら研究成果物はありません。
 - 来春を目標に検討・作業を進めています。

研究の動機と 到達目標

形容詞＝形容表現？

(1a) このコーヒーは**おいしい**

(1b) このコーヒーは**味わいがある**

形容詞＝形容表現？(続き)

(2a) I am hungry.

(2b) (私は)おなかがすいた

形容詞 ≠ 形容表現である

(2a) I am hungry.

(2b) (私は)おなかがすいた

日本語は形容詞(含む形容動詞)以外にも形容表現がある。

研究の概略

【主張】

日本語は**形容詞と形容表現の集合が一致しない**

- ・ 形容詞という集合が使い物にならない
- ・ 形容表現集合という言葉資源が存在しない

【内容】

日本語の形容表現を収集する

- ・ 本研究では「**形状性用言**」と呼ぶ
- ・ 収集は(半)手作業で行う

【効果】

自然言語処理において「形容詞」「動詞」を使用する
処理すべての精度向上が期待できる。

到達目標

- 形状性用言の定義
- 形状性用言辞書の作成と公開
- 形状性用言の有用性の実証

関連研究

関連研究：自然言語処理

- 「形容表現」を検討した研究は存在せず。
- 評価表現辞書
 - ◆ 高村：単語感情極性対応表
 - ✓ 岩波国語辞書に対して感情極性を付与
 - ✓ 単語(名詞、動詞、形容詞、副詞)
 - ◆ 鍛冶：Polar Phrase Dictionary
 - ✓ 形容詞(句)と評価極性値が1万組
 - ✓ 「グラフィックが綺麗だ」なども収録
 - ◆ 小林：評価値表現辞書 → 次スライド

小林：評価値表現辞書

- 「評価を表すために使われる可能性のある表現」を 5,200 表現収集
 - ・ 形容詞: 高い、安い、硬い
 - ・ 特定の評価対象に対する評価者(書き手もしくは第三者)の感情や心的な態度を表す表現: 腹立つ、むかつく
 - ・ 複数形態素: 居ても立ってもいられない
- 本研究との相違
 - ・ 意見・評判を捉えるきっかけ: 愚痴
 - ・ 形容表現の主観性の高さ: 赤い

言語研究：江戸時代

- 富士谷成章
 - ・ 形容詞、動詞はともに装(よそひ)に属して活用を持ち、事を定めることが出来る
- 鈴木胤
 - ・ 形状ノ詞:イの韻で終わり物事の有様・形状を表すもの
 - ・ 作用の詞:ウの韻で終わり人や物の動き・働き・変化を表すもの
- 富樫広蔭
 - ・ 説容体詞(現形容詞)と説動用詞(現動詞)

鈴木のみが形態論に基づく品詞分類

言語研究：明治以降

- 形態論が主流、ただし下記の研究あり
 - ・ **山田孝雄**：形容詞と動詞の違いは時間的性格
 - ・ **松下大三郎**：動作動詞(現動詞)には運動性と静止性があり、静止性を意思的か自然的かで分類
- **石垣謙三**
 - ・ 用言を形状と作用に分類することの重要性を議論
 - ・ **形状性用言**：終止形がイ段音及び「べし、たり、けり、き、ず、む、らむ、けむ」などの助動詞、動詞「見ゆ、聞ゆ、思ゆ、侍ふ、おはす、という、になる」

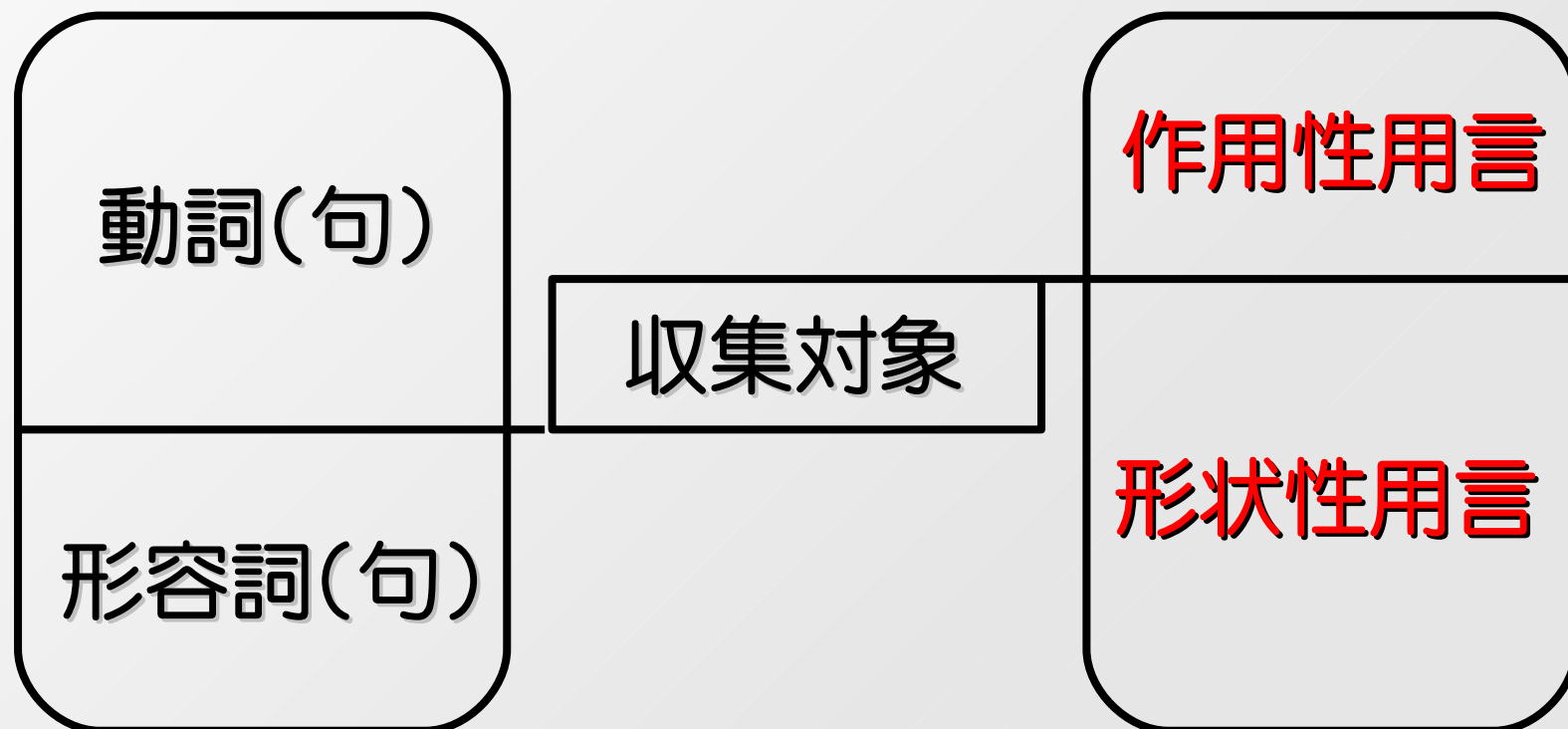
形状性用言 の議論

動詞・形容詞との集合関係

動詞(句)

形容詞(句)

動詞・形容詞との集合関係



機能表現の付加

(3a) 冷たいビール

(3b) 冷えているビール

(3c) 冷えたビール

機能表現の付加

(3a) 冷たいビール

(3b) 冷えているビール

(3c) 冷えたビール

いずれも形状性用言に感じるが、「...ている」「...た」が形状性を有すると考え、「冷える」が形状性用言とは考えない。

表現長

(4a) 困る
しびれる

(4b) ドキッとする
風格がある

表現長

(4a) 困る
しびれる

(4b) ドキッとする
風格がある

(4a)のような一単語に限定せず、(4b)のよう
な複数単語表現も収集する。

表現の固定性

(4c) ビタミンCを含む

(4c-1) アミノ酸を含む

(4c-2) 土日祝を含む

(4c) は形状性用言と考えられるが「...を含む」には表現の固定性がない。このような表現は「(名詞)を含む」などの形で収集することを検討する。

多義性との関係

(5a) キャンディーを口に含む

(5b) このジュースはビタミンCを含む

多義性との関係

(5a) キャンディーを口に含む

(5b) このジュースはビタミンCを含む

(5a)は作用性用言、(5b)は形状性用言である。
同じ語でも意味により作用性・形状性が異なる
場合がある。

慣用的表現

(6) 手に余る
目が届く
生唾を飲み込む

慣用的表現

(6) 手に余る
目が届く
生唾を飲み込む

慣用表現についても広く収集する。

まとめ

本研究のまとめ

- 日本語において**事物を形容した表現は形容詞だけではない**。よって「形容詞」という品詞名を使ったすべての処理は十分な精度を得られていない可能性がある。
- 日本語の「形容表現辞書」は存在しない。
- 我々は**形状性用言**(及び作用性用言)という概念を提案し、その定義の確定と辞書(表現集合)の構築を目指す。

ありがとうございました。

- ご意見、ご質問は歓迎します。

著者連絡先 : yamamoto@jnlp.org